

原発全廃！びわ湖一周デモに 2日間だけ行ってきました。



近江大橋を渡る

連休が始まる五月四日、二五〇名が大津駅前に集まりました。この日から五日間をかけて「びわ湖一周デモ」が始まりました。
「福島の前発事故では三

十から五十^キも離れた飯館村も全村避難を強いられました。約二百^キ離れた東京や千葉にも高濃度の

放射線物質が飛来してきます。若狭湾にある原発で事故が起きたら琵琶湖は汚染され、関西千四百五十万人の飲料水はなくなりません。そして、滋賀県や京都府の全域が永遠に住めない地域になりかねないのです。地震や火山噴火のような自然災害を止めることはできません。

しかし、原発全廃を決意し実行すれば原発事故は止められます。原発のない、未来に不安のない社会を実現しましょう」と、多くの人が原発反対を掲げてグルッとびわ湖を巡る。私もその一人になりたくて参加しました。

熊本を襲った連続的な大地震。それでも川内原発を止めない。世界第一級の大断層 中央構造線に沿って立地している四国の伊方原発は七月にも再稼働をしようとしています。

クスのオンパレード。「国内でこれ以上の新たな原発建設は無理。あとは海外への輸出だ。日本の原発は海外へ売り込むためのモデルハウスなのだ。しょっちゅう揺れる日本で動かすことで『安全性』を宣伝して売るのが」と

いう背筋が凍りそうな話も聞かえてきます。緑の風が吹き渡る五月初旬。田んぼでは田植えが始まり、麦畑が広がる。一日目はおよそ十八^キ、二日目は十六^キくらい歩きました。ずっと風に吹かれていた二日間でした。原発なんかいらぬ。

編集委員 T

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！